＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

今回からは注目の有機 EL ディスプレイ部材市場を追加し、パワーアップ！　最後までお読み下さい‼

Advanced Market Report

LCD / OELD 部材・需給年鑑 2002

のご案内

特集：有機 EL ディスプレイ部材市場の予測

●本レポートのこれまでにない特徴

1．FPD 中小型や LCD 業界の収益動向までをも詳細にまとめ大好評を博した『LCD / FPD 市場戦略年鑑 2001-02』の**補完版**として位置付けられる。分析には、**マーケティング手法を駆使**した。
2．TFT 需給動向と供給上の**ボトルネックとなる部材動向を予測**する。
3．各種部材の**市場構造・寡占度を分析**して、LCD メーカーには**生産計画・価格戦略上の問題点**、部材メーカーには**参入各社の競争力を提示**する。
4．今年から**有機 ELD 部材も追加**。来年版以降、さらに内容の充実を図る。

●本レポートのコンテンツと内容・サマリー

Executive Summary

Ⅰ．特集：有機 EL ディスプレイ部材市場の予測

1．OELD 市場の予測
・2006 年の市場は 2,250 億円市場。2002-03 年より大型化、アクティブマトリクス化が進む。供給体制拡大が望まれる。
2．発光材料の市場予測
・2006 年に 50 億円市場。低分子材料から市場は立ち上がる。但し OELD 部材には大きな技術的ブレークスルーが必要。
3．主要部材の予測　～ドライバーのボトルネック
・2006 の市場は基板 15 億円、ドライバー200 億円。ただしドライバーの供給体制が不充分でボトルネックとなる可能性。

Ⅱ．TFT 需給予測

1．TFT 生産能力推移
2．日韓台メーカートータルでの需給バランスのシミュレーション
・台湾勢の本格稼働、需要停滞によって 2001 年より需給が大幅に緩和。2003 年以降、年率 20-25%の増強で充分。
3．日本メーカーと中小型 TFT の需給シミュレーション
・日本勢が中小型に特化した場合、2005 年までの需要を満たせる。高精細品を考慮しても、ここ 1-2 年の増設は不要。

Ⅲ．LCD 市場拡大のボトルネック分析と部材市場構造の総括

1．部材産業の位置付け
・2001 年は 7,340 億円市場で、年平均 10%づつ成長し、2006 年には 1 兆 1,240 億円規模となる。
・部材市場は、全 LCD モジュール市場の 30%に当り、2006 年には 24%規模にまで下がる。台湾ローカル部材が増加。
2．TFT 市場の成長を狂わす要因＝部材のボトルネック分析
・2002-06 年は部材需給も安定するが、不測の事態があった場合、7-10%のボトルネックとなる可能性を孕んでいる。
3．各種部材の市場形態から見た部材価格の予測

∞ Infinite Technologies, 2002

・価格の下がり難い市場構造：プラスチック基板、クロムターゲット、ラビング布、シール材、液晶材料
　売手独占市場、寡占市場＋上位1社の RMS が 1.5 以上、代替品がない、パネルメーカーの内製がない、などの市場。
・価格の下がり難い市場構造：カラーフィルター、配向処理膜、バックライト、導光板
　寡占度が低い、上位 1 社の RMS が 1.5 未満、競合が激しい、パネルメーカーも内製、調達が容易、などの市場。

4．TFT の原価予測からみた価格引き下げ要求
・15 インチ台湾品で 220US ドルにまで価格が大幅に下落、部材コストがダウンしても、大型では黒字に転じ難い。

Ⅳ．主要 LCD 部材の需給バランス予測

1．ガラス基板の需給バランス
2．カラーフィルターの需給バランス
3．ドライバーIC の需給バランス
4．偏光フィルムの需給バランス
・部材メーカーの設備増強は計画的に行われている感がある。台湾ローカル部材産業の立ち上がりによって、需給は安定。

Ⅳ．LCD 部材市場予測

(1) 市場規模と予測（1999-2006）、(2) 用途・技術動向、(3) 価格動向、(4) メーカー動向と納入動向、
(5) 市場形態・競争力分析（寡占度・RMS 分析：200-01）、(6) メーカー内製化動向、など

1．ガラス基板：白板・青板とも市場寡占度が高い。白板は将来的に大幅な能力増強が予定され、単価は 10%下落傾向。
2．成膜基板：TFT メーカーの膜付内製化、BM の脱クロム化により、市場は下降。新規市場の発掘が課題。
3．プラスチック LCD 基板：成長率は高いが、未だプラ液晶の市場は大きくない。将来のフレキ OELD に期待。
4．アルカリ封止膜：STN, TN 市場は成熟化しており、大きな市場の増加は見込めない。
5．ITO ターゲット材：レアメタルのインジウムの入手難、市場寡占によって、単価が極めて下がり難い。
6．電極保護コート剤：STN が小型品中心になってきており、市場は漸減傾向。典型的な寡占市場。
7．カラーフィルター：凸版が好収益を実現するも、台湾で大幅な能力増もあり、市況は大幅なダウンを予測。
8．カラーフィルター用顔料分散型レジスト：CF の需要拡大により、市場は拡大基調。
9．カラーフィルター用顔料：Ciba の競争力が極めて高く、価格下落が起りにくい。
10．クロムターゲット・樹脂ブラックマトリクス：Cr は東ソーの一人勝ちも、環境問題から樹脂 BM への移行が進む。
11．カラーフィルターオーバーコート剤：独占度が高い。但しスリット＆スピン法採用で、原単位が大きく減少。
12．液晶用フォトレジスト：自由競争度が高く、高精細化でネガ型が活性化してきている。
13．配向処理膜：３社寡占型であるが、競争は激しくなってきており、価格は下落傾向となろう。
14．スペーサー：様々なタイプがあり、積水化学が大きくリード。市場自体は大きく拡大。
15．ラビング布：寡占市場で、ラビング工程自体もっとも不安があるプロセス。市場はラビングフリー製法の進捗による。
16．シール剤（基板接着剤）：三井化学が圧倒的シェア。したがって単価下落が考え難い市場。
17．液晶封止剤：ヘンケルジャパンの RMS が高い。UV 硬化型にシフト。
18．液晶材料（ミクスチャー）：上位３社の競合が大きいが、製品のスペシャリティー度が高く、単価下落は最小限。
19．液晶用光学フィルム（偏光板/位相差板）：TFT 大型中心に視野角補償フィルムが急拡大。PVA, TAC 供給能力アップ。
20．蛍光ランプ型バックライトユニット：市場変動が大きく、台湾でも生産。コスト管理が焦眉の急となっている。
21．EL ランプ型バックライトユニット：セルラーや PDA のカラー化によって、需要は頭打ち傾向。
22．導光板：パネルメーカーにも供給。導光板レス・プリズムシートレスなど様々な動きがあり、価格は大きく下落。
23．拡散シート：３社による寡占形態。価格下落はないが、拡散シートレス・反射型の趨勢などにも左右される。
24．プリズムシート：住友スリーエムの独占市場。ただしプリズムレスの動きもあり、単価は下がり基調となろう。
25．タッチパネル：PDA のみならず、大型 TFT 分野での応用も進み、市場は大きく拡大。
26．異方性導電膜：２社寡占があり、価格下落は最小限。pSi･TFT の COG 実装にも使用され、市場機会は拡大。
27．TCP（TAB フィルムキャリア）：２社の激しい競合もあるが、セルラー・モニターの狭額縁化で COF 実装が増加。
28．ドライバーIC：供給体制は整備され、高精細化（SXGA 以上）向け 480 出力品の供給が活発化しそうな趨勢。

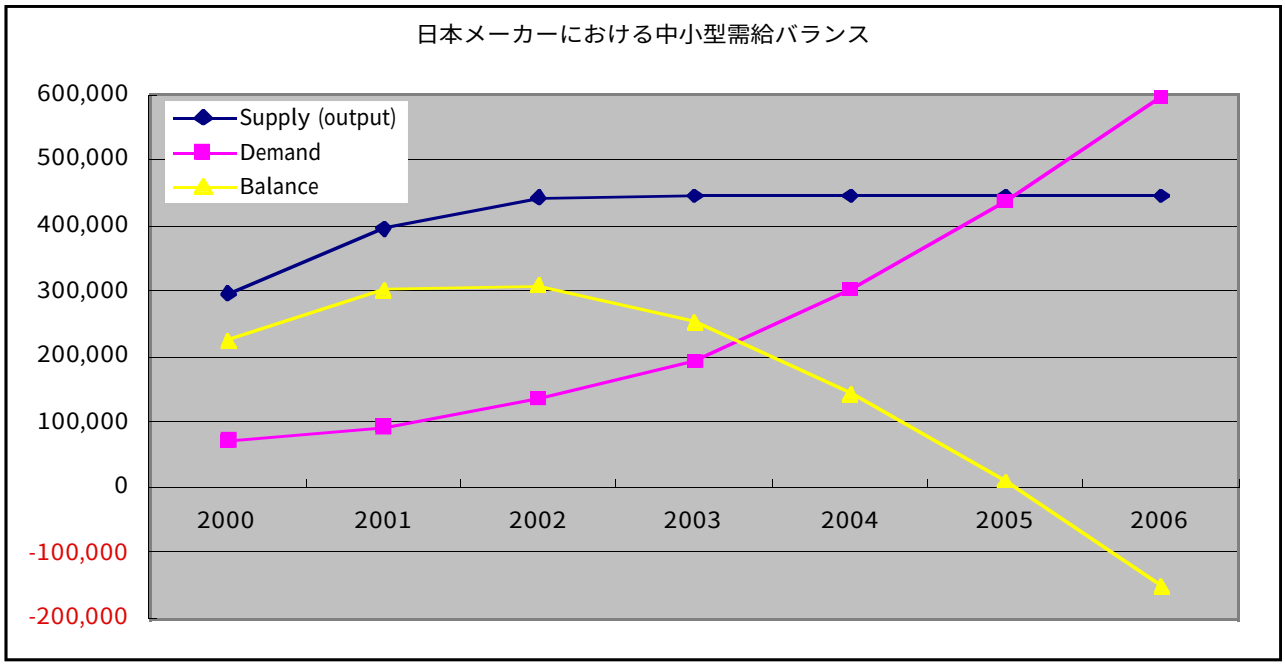
※**『LCD/FPD 市場戦略年鑑　2001-02』**についても、未だご注文を受け付けております。
http://infinite-tec.com で内容見本のダウンロードができます‼　尚『同年鑑 2002-03』は **7 月発刊**を予定しています

∞ Infinite Technologies, 2002

●発刊内容

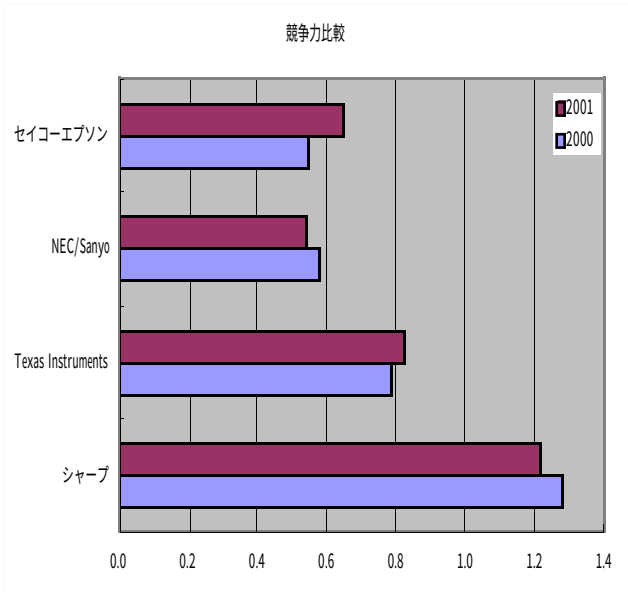
＜発刊日＞　2002 年 1 月 10 日
＜体　裁＞　基本的に **PDF ファイル版（CD-ROM）** のみでの供給となります。
　　５部以上お申し込みの場合は、ご相談下さい。
＜価　格＞　**予約特価：100,000 円（税別）**　定価（2 月 10 日以降のご発注）：120,000 円（税別）
＜申　込＞　付属の注文書に必要事項をご記入のうえ E-mail または FAX でご送付下さい。お電話でも結構です。

●内容見本



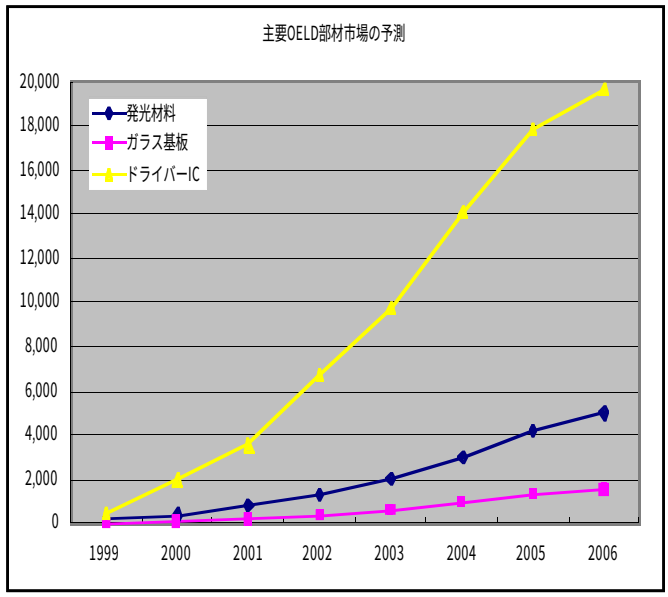
■主要部材のボトルネック分析

	2002	2003	2004	2005	2006
部材ボトルネック率					
ガラス基板	8.4%	8.2%	7.7%	8.0%	8.4%
カラーフィルター	1.0%	-	5.8%	5.8%	7.8%
偏光フィルム	-	-	-	2.9%	9.6%
ドライバーIC	-	-	-	2.0%	6.1%
想定されるボトルネック	8.4%	8.2%	7.7%	8.0%	9.6%



■OELD サイズ別需要予測

	2000	2001	2002
0-3"	2,510	5,250	12,100
3-5"	310	800	1,300
5-9"	180	400	700
中小型 Total	3,000	6,450	14,100
10-12"	0	0	0
13-15"	0	0	0
大型 Total	0	0	0
Grand Total	3,000	6,450	14,100
Passive-OELD	3,000	6,450	12,600
TFT-OELD	0	0	1,500



お申し込みまたは問合せ先

（株）インフィニット・テクノロジーズ　　大垣　城治

〒158-0083　東京都世田谷区奥沢 6-5-10-502　　**☎ 03-3702-0526　　菱 03-3702-0515**

E-mail: george@infinite-tec.com　　会社概要は、**http://infinite-tec.com** へ！

注　文　書

発注日：　　年　　月　　日

『**LCD / OELD 部材・需給年鑑**　2002』を以下の通り申し込みます。

貴社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　部数　PDF 版：　　部

所在地　〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

部署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご担当＿＿＿＿＿＿＿＿　☎＿＿＿＿＿＿＿＿　菱＿＿＿＿＿＿＿＿

E-mail＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

通信事項＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

∞ Infinite Technologies, 2002